

感染状況・医療提供体制の分析（令和5年3月22日時点）

【公表日 令和5年3月23日】

| 区分 | モニタリング項目 ※①～④は7日間移動平均で算出 | 前回の数値 (3月15日公表時点) | 現在の数値 (3月22日公表時点) | 前回との比較 | これまでの最大値 | 項目ごとの分析 |
|--------|--|----------------------|----------------------|--------|-------------------------|--|
| 感染状況 | ①新規陽性者数※1 (うち65歳以上) | 728.1人 (107.7人) | 572.1人 (83.9人) | | 32,099.9人 (2022/8/3) | 総括コメント 感染状況の推移に注意が必要である |
| | ②#7119（東京消防庁救急相談センター）※2 における発熱等相談件数 | 68.4件 | 67.4件 | | 257.9件 (2022/7/25) | 新規陽性者数の7日間平均は、前回と比べ減少した。感染がより広がりやすいとされている、オミクロン株の亜系統へ置き換わってきており、今後の動向を注視する必要がある。 |
| | ③検査の陽性率（PCR・抗原） (検査人数) | 4.6% (9,883人) | 4.9% (7,389人) | | 52.2% (2022/8/7) | |
| 医療提供体制 | ④救急医療の東京ルール※3の適用件数 | 113.4件 | 115.7件 | | 309.7件 (2022/7/24) | |
| | ⑤入院患者数 (病床数) | 600人 (3,407床) | 621人 (3,387床) | | 4,459人 (2022/8/20) | 約2か月にわたり減少傾向が続いていた入院患者数は、今週やや増加した。今後の医療提供体制の状況に注意が必要である。 |
| | ⑥重症患者数 人工呼吸器管理（ECMO含む）が必要な患者 (病床数) | 7人 (201床) | 4人 (200床) | | 297人 (2021/8/28) | |

※1 医療機関及び東京都陽性者登録センターから報告のあった新規陽性者数の合計を計上（都内の空港・海港検疫にて陽性が確認され、都に報告された分を除く）

※2 「#7119」…急病やけがの際に、緊急受診の必要性や診察可能な医療機関をアドバイスする電話相談窓口

※3 「救急医療の東京ルール」…救急隊による5医療機関への受入要請又は選定開始から20分以上経過しても搬送先が決定しない事案

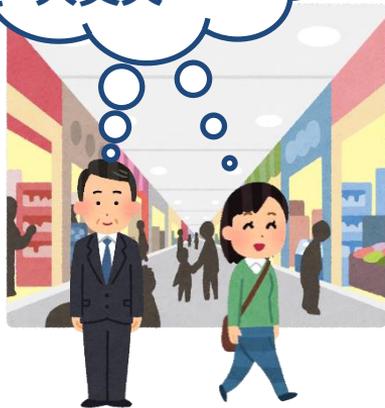
【参考】VRSデータによる
都民年代別ワクチン接種状況
(令和5年3月21日現在)

| 都内全人口 | | | 12歳以上 | | | 高齢者(65歳以上) | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|-------|
| 2回目 | 3回目 | 接種率対応 | 2回目 | 3回目 | 接種率対応 | 2回目 | 3回目 | 4回目 | 接種率対応 |
| 81.1% | 67.4% | 41.6% | 87.7% | 73.6% | 45.8% | 93.4% | 90.4% | 83.2% | 75.2% |

3/13から

マスクの着用は個人の判断に 一人ひとりの判断を尊重しましょう！

空いてるし
ここは外して
大丈夫



空いてきた
から外そう



花粉症で
くしゃみが出るし
エチケットとして着
けよう



マスクは、お客様のご判断で着用願います



従業員の着用に
ご理解を

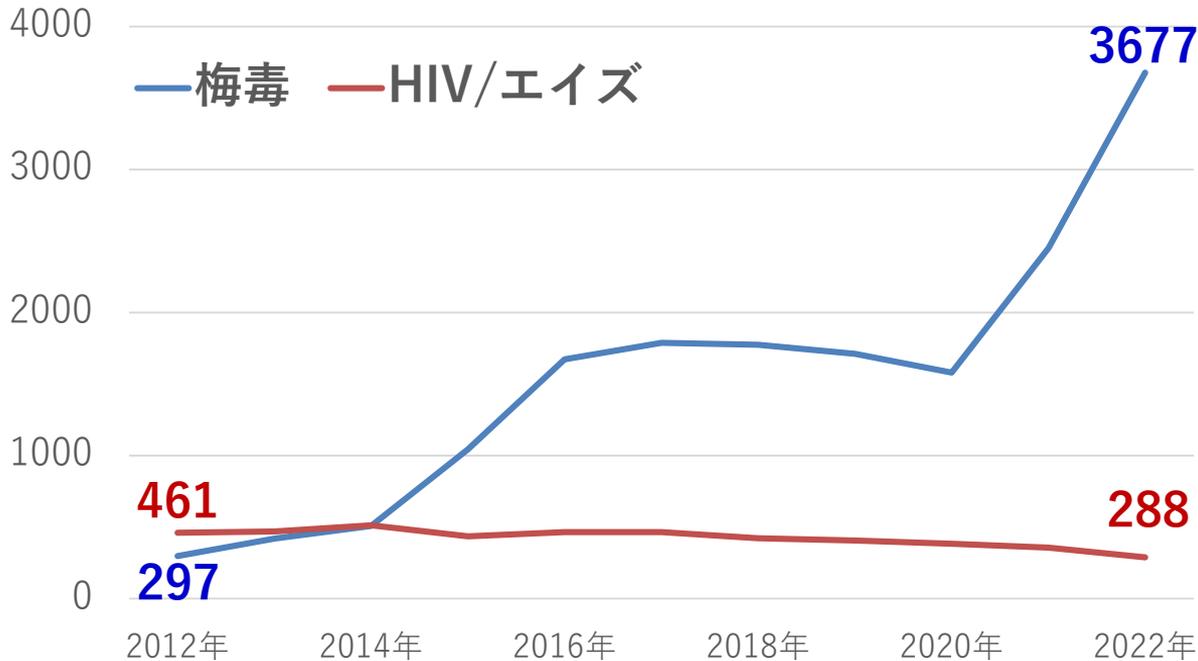
※ 換気、3密の回避、手洗い・手指消毒等の感染防止対策も忘れずに

サステナブル・リカバリー

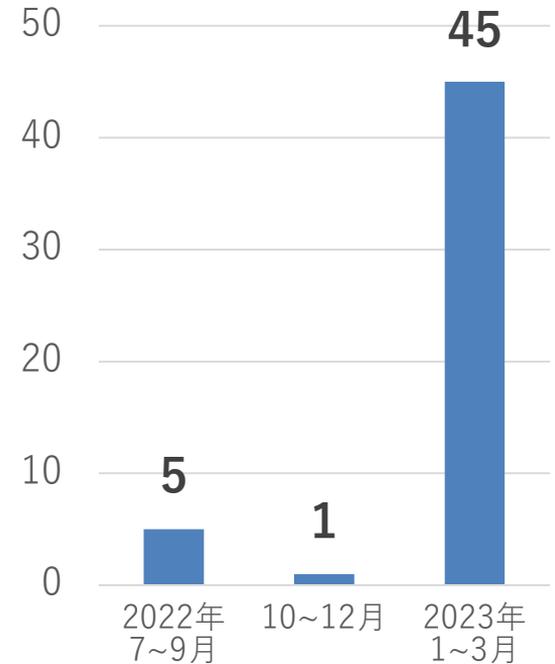
都民の命と健康を最優先に
かつての日常を取り戻すだけでなく
コロナとも共存した活気あふれる東京へ

梅毒・HIV/エイズ・サル痘患者報告数の推移

○ 梅毒・HIV/エイズ患者



○ サル痘患者



令和5 (2023) 年3月24日 (金)

梅毒やサル痘などの感染症の拡大防止

- ・一人ひとりが正しい知識を持ち、適切な行動を心がければ、感染拡大を防止することができます。
- ・万一感染しても、早期に発見し、適切に治療することが大切です。
- ・症状があるときや、不安な時は、早めに近くの医療機関や保健所に相談しましょう

性感染症治療に対応する医療機関



東京都性感染症ナビ

性感染症の正しい知識と適切な行動のために

